

Ⅲ. 研究成果の刊行物・別刷

【書籍発表】

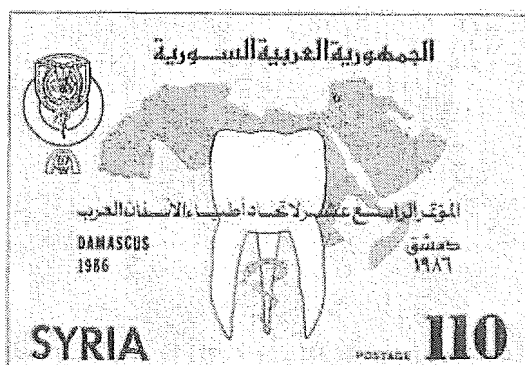
4. 古賀龍彦, 杉謙一, 木村通男, 松岡健平

糖尿病診療と電子カルテ

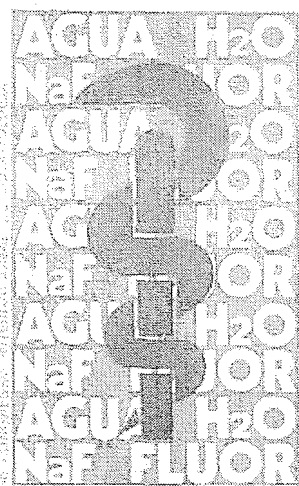
Diabetes Journal, Vol. 32:3, 15(79)–19(83),
2004.

DIABETES JOURNAL

糖尿病と代謝



Brasil 77 1,30



Vol. 32 No. 3 2004

CONTENTS

Review Article I	1
AMPキナーゼとエネルギー代謝 箕越 靖彦	
Review Article II	9
エビデンスに基づく糖尿病性腎症の管理 四方 泰史, 横野 博史	
Technics Guide	15
糖尿病診療と電子カルテ 古賀 龍彦, 杉 謙一, 木村 通男, 松岡 健平	
Case Report I	20
両側性の高血糖性舞蹈病の1例 水谷 直広, 傍島 裕司, 青木 孝彦, 柴田 大河, 鈴木 淳也	
Case Report II	26
経過中インスリン分泌能およびインスリン抵抗性指標を追跡し得た ヘモクロマトーシス合併糖尿病の1症例 岡内 幸義, 南茂 隆生, 岩橋 博見, 椿尾 真弓, 芳川 篤志, 林 功, 沖田 考平, 加藤 研, 松久 宗英, 山崎 義光, 山縣 和也, 船橋 徹, 宮川潤一郎, 下村伊一郎	
Message	31
包括支払制度下のあり方 —とくにHbA _{1c} を中心に 武井 泉	
Topics	34
ミトコンドリア代謝と糖尿病 荒木 栄一, 西川 武志	
Book Review	36
Textbook of Diabetes (2-Volume Set) Third edition 堀田 饒	

◆編集代表——清野 裕

◆編集委員——羽田勝計/岡 芳知/岩本安彦/田嶋尚子/門脇 孝/河盛隆造/堀田 饒
中村二郎/河野典夫/武田 倬/名和田 新/荒木栄一

糖尿病診療と電子カルテ

古賀 龍彦*, 杉 謙一*, 木村 通男**, 松岡 健平***

Electric medical record for diabetes mellitus

I. 糖尿病におけるコンピュータ利用の流れ

糖尿病領域におけるコンピュータ利用は、種々の方向から試みられてきた。糖尿病学会にはインターネット委員会が設置され、学会のホームページ(HP)とともに各地方会にも作られるようになった¹⁾。総会の演題登録は、1999年の第42回糖尿病学会総会より全インターネット申込が実現、地方会申し込みもできるようになり、2004年からはインターネット上で学会誌『糖尿病』の検索閲覧も可能となっている。糖尿病学の進歩では、電子化に関するレクチャーがここ数年毎回盛り込まれており、総会も第42回から計4回にわたって電子化に関するワークショップやシンポジウムが開かれている。食品交換表のコンピュータや個人携帯端末PDAでの閲覧実現も電子化に関する大きな仕事である。

学会以外にも京都大学などのHP活動や動画利用²⁾がある、HPと連動したSDMメーリングリスト³⁾も発足から4年が経過し、糖尿病臨床に関する1,100を超える質疑が穏やかな雰囲気でも継続されている。診療時のコンピュータ利用においては、10年以上前に東京慈恵会医科大学や熊本大学によるノートパソコンやICカードなどを用いた診療支援ソフト開発が発表されたが、現在では富山医科薬科大学の糖尿病電子カルテCoDiC⁴⁾や東京女子医科大学のデータベースを用いた臨床研究⁵⁾をはじめ、多くの施設でそれぞれ独自の試みがされている。4年前に糖尿病教育資源共有機構が立ち上がり、毎年夏には電子化に関する年次集会在開かれている。

全国的に電子カルテという用語が使われ出した

のは20年以上前である。当初はコンピュータ能力が大規模の病院システムの稼働には追いつかなかったが、最近が開業医レベルでの電子カルテがレセプトコンピュータとの連携もあって実用段階に入り、総合病院レベルでも金沢医科大学付属病院や亀田総合病院、さらには島根県立中央病院などが次々に全電子カルテを稼働、必ずしもペーパーレスにこだわらず、複数の場所で画像を含めたデータ閲覧や協議が可能になるものという、医療情報学会による電子カルテの定義が発表された⁶⁾ことと、厚生労働省より2006年までには400床以上の病院と全診療所の6割以上に電子カルテをというグランドデザインの発表とともに、補助対策も手伝って浸透が加速されてきた。

II. 病院情報システムの拡充と糖尿病診療への利用

糖尿病は容量の小さなテキストデータが主で電子的に扱いやすいものの、毎回採血データが蓄積され、その把握が重要であること、複数の医療機関でのフォローが多く病診連携も多いことなどから、以前より電子化のモデル疾患と認識されてきた。最近急速に導入が増加している病院情報システム(HIS)は、オーダーリングシステムという別名の通り、発生元入力と結果参照医事会計を含めた一元管理を目的にしたシステムである。総合病院においては、20近い診療科それぞれに使用しやすいシステムの構築は物理的にも不可能で、ましてや、そのなかの1つである内科の一部門である糖尿病外来と循環器外来で、糖尿病に対して異なるカスタマイズがどの程度できるかを考えればその限界も理解できる。

*Tatsuhiko KOGA, *Kenichi SUGI/原土井病院内科●〒813-8588 福岡県福岡市東区青葉6-40-8.

Michio KIMURA/浜松医科大学医療情報部・教授, *Kenpei MATSUOKA/東京都済生会糖尿病臨床研究センター・所長

2003年4月にスタートした当院電子カルテシステムの構築に参画でき、貴重な経験をした。すでに過去2度の病院システム更新の経験もあり、既存の総合病院用パッケージ購入ではなくオーダーメイド構築を選択した。データ蓄積による速度低下が少ないとされるM言語(Cache)を用いたこともあり、外来時間延長もほとんどなく軽快に動いている。その導入検討の過程から、HISに糖尿病に特化した情報を盛り込むことの限界だけでなく、部門別臨床研究など必要なデータすべてをHISそのものに入れると、将来のHIS更新時データ積み替え問題などが起こり得ることも認識できた。

糖尿病領域におけるコンピュータ利用には大きく分けて2つの流れがあるように思われる。1つはコンピュータから患者データを抽出しての臨床研究やネットワーク使用の試みであり、前出のCoDiCや、東京女子医科大学糖尿病センターのデータマイニング、さらに福岡市糖尿病電子カルテ²⁾や電子的な糖尿病治療マニュアルeSDMを用いたわかしおネットワーク³⁾、第46回総会セミナーで発表された合併症進行予測ソフトなどもこの流れに入ると考えるが、この目的にはデータを自在に検討できる機能確保が優先され、基幹データベースシステムソフトであるOracleやMSSQL Serverまではなくても、MSアクセスや4th Dimensionのようなデータベース言語SQLが動き、暗号化にも対応できるようリレーショナルデータベースソフトが必要になる。運用は病院システムからデータを取り込んだ部門別システムとなる。

これに対して第二の流れとは、患者診療における経過確認や添書/サマリー作成などの目的での診療支援システムである。これは外来をしながら使用するわけであるから時間との戦いで、使い勝手の改善やフォローのためのチェックボックス追加など、頻回な修正が避けられない。あまりデータベース言語などは詳しくない医療者にも自力で修正が可能になるよう、カード型の発展形であるファイルメーカーのような平易なデータベースソフトが選択肢となる。そのままではデータ再利用への機能は限定されるが、MSエクセルへの書き出しが容易なので、そちらでの統計処理も可能である。著者が経験した第二の利用法について少し言及したい。

III. 診療支援ファイルの構築例

1989年、山口赤十字病院に赴任してまもなく外来から癌患者が複数名出たことから、患者全体像をコンピュータに記憶させて把握しようと、同年12月に立ち上げ少しずつ拡充してきた⁴⁾¹⁰⁾。ネットワーク使用となった現在でも、糖尿病に限定した診察室と病棟、栄養課といった数台の端末程度にて、ファイルメーカーでも実用に問題ない速度での運用ができています。経費的にも負担が軽く、設計変更が容易であり、少しずつフィールド項目やレイアウトを増やせるという特質は、使いながら要求が増えていく臨床医にとって大きな利点と考える。PC入力とカルテの手書き記載との併用による時間延長を避けるために、ポップアップメニューを多用しながらSOAPをすべてPC入力としてきたが、処方用紙とカルテ記載、前回データが印字された予約票を打ち出しながら1時間に8人の診察は可能であった。

HISが導入されている当院に転勤してからは、処方をはじめ不要な部分が少なく、一部項目を削除後使用を継続している。過去3回分のSOAPが一瞥できることやHCV陽性患者のCT後6ヵ月経過した場合の警告、眼科受診が最近ない場合に見つけやすいなど、HISに要求するのは大変なことが容易に実現できるからである。2台のPCを診察机の上に並べることもサブノートPCの大きさであればスペース的にも問題なく併用を続けている(図1)。

最近当院で進めているもう1つの試みは、HISの端末にUSBフラッシュメモリーチップを差込み、そのなかにソフトと糖尿病外来ファイルをインストールして同じモニター内で開く方法である(図2)。この方法だとHISのデータもコピーアンドペーストで簡単に利用することが可能であり、抜き差しで病棟でも医局でも自由に開いて継続使用が可能になる。128Mbの容量があるメモリーチップなら、全糖尿病患者データの格納も充分可能である。

端末そのものに新たなデータベースソフトをインストールすることで、HISのネットワーク動作障害が起こらないよう、ソフトも含めてすべてをチップ内に入れネットワーク使用をしないこと

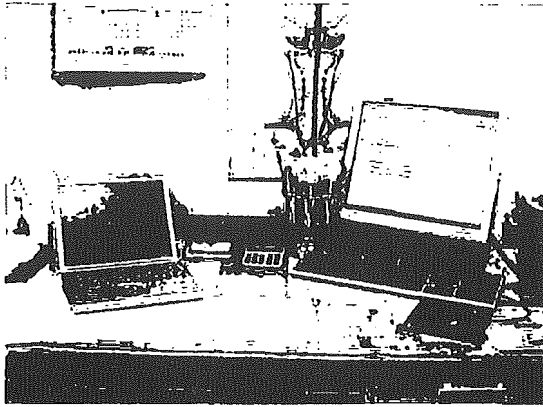


図1 病院システム(HIS)端末と糖尿病ファイルPCの併置

HIS端末のなかに別のソフトをインストールすることで、HISの動作を不安定にさせることを防止できる。さらに、HISではシールプリンターに印字する設定であるため、通常用紙に印字するにはプリンター切り替えが必要になるが、そうした操作なしにスムーズに行なえる利点がある。広めの診療机があれば業務に支障をきたすことはない。

と、HISにウイルスチェッカーをインストールしておく、そしてチップを紛失しないような配慮とロック、バックアップがこの方法の重要なポイントである。詳細については過去の報告¹¹⁾ないし投稿中の別報告を参照いただきたいが、ソフトとUSBメモリーチップあわせて10万円以内で通常の診療業務には過不足ない使用ができる。HISの導入をされた施設では、こうした方法もご一考いただければと考える。

IV. 患者情報保護と標準化

PC機器自体は最近極めて安価になったが、私たちが扱う糖尿病患者の個人情報、フロッピー1枚に満たない大きさでもダイヤモンドを取り扱うような注意深い配慮が必要である。本来の治療以外の目的でのデータ再利用には、患者からの書面での同意が必要と第46回糖尿病学会のワークシ

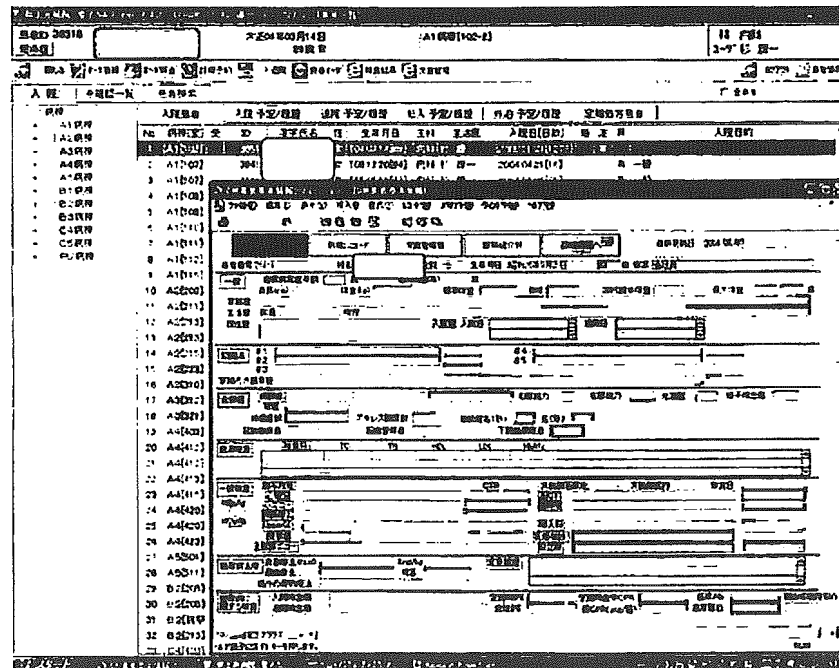


図2 HISの端末モニターに糖尿病ファイルを表示させた場合

印字させずに閲覧だけであれば2台の併置は必ずしも必要ない。USBフラッシュメモリーチップ内にすべてのアプリケーションソフトとファイルをインストールして端末に挿入すれば、HISへの影響を抑えながらHIS内のデータをコピーするなどのことも可能になる。前面が糖尿病に特化したファイルで、後面が当院HISファイル。入力的时间的な負担を極力抑えるために、ポップアップメニューの多用はもとより検査名をクリックすると当日の日付とデフォルトの検査結果内容が自動入力されるように作成した。このような自動化がプログラム言語なしに実現できるところが便利である。

ショップで専門家から強調された、CoDiCのデータマネージメント研究会では、専門家の参加と倫理委員会の設置をしている。当院でも一括吐き出しができないシステム構築やアクセスログ管理とともに、運用規定の文書化と説明会の実施、電子化委員会での許可制をとっている。

20年以上前には、まず電子カルテそのものの規格化、統一化が検討された。しかし、そうした画一化は日進月歩の電子化技術の競争を抑えることにもなりかねないと考えられ、また種々の病院システムが独自の形式ですでに先行実働していたから、せめて施設間患者情報の交換だけは可能なようにと検討対象が移った。それが標準化である。開始タグ<…>と終了タグ</…>で囲むXMLというマークアップ言語ではタグ名称で意味を持たせたデータの交換ができるので、これを用いて患者情報交換の標準化検討が続けられている。MERIT-9は電子的な診療情報交換規約であり¹²⁾、

当院の糖尿病ファイルでもこのMERIT-9v2に準拠した形での書き出しを可能としている(図3)。これを用いると、まったく異なるシステムを使う病院でも当院からの紹介患者情報を取り込むことが可能となる。MERIT-9は処方や検査データはHL7で、画像はDICOMでと指定しているが、この6月から福岡市医師会ではHL7v2.4に対応した医師会検査センターのデータ共有が実用化され、XMLやHL7に対応した9,800円の電子カルテと暗号キー配布により、他施設における採血データの閲覧が可能となった。

標準化の利点は病診連携だけではない、HISは平均5、6年後にはその更新時期を迎える。その時に、独自フォーマットで蓄積したデータを他社製に引き継ぐことには高額の費用が発生する。実際データの取り込みを断念したケースや、他社製への乗り換えをあきらめたケースも少なくない。今後、HISを導入する際にはHL7対応を仕様書に記

MERIT-9v2に基づくPATIENT-REFERRAL

患者ID	00000001
患者氏名	山田 太郎
診療科	内科
医師氏名	佐藤 健一
施設名	福岡市医師会
施設コード	00000001

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<FHIRPOSRESULT xmlns="http://www.fhirmodels.com/fhirposresult">
  <EPPOPCODE>0</EPPOPCODE>
  <DATABASE>診療情報XML書き出し</DATABASE>
  <LAYOUT>1</LAYOUT>
  <ROW MODID="6" RECORDID="8">
    <診療科:管理ID>DM-7</診療科:管理ID>
    <診療科:真行日>20040410</診療科:真行日>
    <診療科:目的区分 />
    <診療科:目的>今後のフォローをよろしくお願い申し上げます。</診療科:目的>
    <診療科:採血区分 />
    <診療科:患者種別:名称>厚生労働省</診療科:患者種別:名称>
    <診療科:患者種別:コード />
    <診療科:患者種別:住所:国コード>JP</診療科:患者種別:住所:国コード>
    <診療科:患者種別:住所:都道府県コード>福岡県</診療科:患者種別:住所:都道府県コード>
    <診療科:患者種別:住所:市区町村コード>福岡市東区</診療科:患者種別:住所:市区町村コード>
    <診療科:患者種別:住所:〒番号>813-0588</診療科:患者種別:住所:〒番号>
    <診療科:患者種別:住所:施設名>福岡市医師会</診療科:患者種別:住所:施設名>
    <診療科:患者種別:住所:施設コード />
    <診療科:患者種別:施設ID />
    <診療科:患者種別:施設ID:施設種別:名称 />
    <診療科:患者種別:施設ID:施設種別:名称:コード />
    <診療科:患者種別:施設ID:施設種別:名称:コード:住所 />
    <診療科:患者種別:施設ID:施設種別:名称:コード:住所:郵便番号 />
    <診療科:患者種別:施設ID:施設種別:名称:コード:住所:郵便番号:市区町村名 />
    <診療科:患者種別:施設ID:施設種別:名称:コード:住所:郵便番号:市区町村名:〒番号 />
    <診療科:患者種別:施設ID:施設種別:名称:コード:住所:郵便番号:市区町村名:〒番号:施設名 />
    <診療科:患者種別:施設ID:施設種別:名称:コード:住所:郵便番号:市区町村名:〒番号:施設名:施設コード />
  </ROW>
</FHIRPOSRESULT>

```

図3 MERIT-9v2に準拠したデータの書き出し
 ファイルメーカーはv6からXMLへのデータ書き出しが可能になった。その機能を用いて他施設へ電子的にデータも添付できるような試みも行なっている。開始タグ<…>と終了タグ</…>ではさんでデータを格納するXMLでは、タグ名(…の部分)が一致すればデータの交換が可能となる。ボタンのクリック3回とID番号入力だけで自動作成ができる。ただし、MERIT-9はMEDISが作成した1,616項目の共通項目セットとも互換性を保持しているが、糖尿病診療のすべてをカバーできるものではない。不足の項目については糖尿病学会での検討を、との要望が第47回糖尿病学会ワークショップで出された。

載しておくべきではないかと考える。

第47回糖尿病学会年次学術集会のワークショップ¹³⁾の最後に強調されたことも、糖尿病に特化したXML項目の検討と今後のHL7対応であった。標準化対応により、自動転記が可能な電子糖尿病手帳や紹介状が実現できたらと期待している。

【文献】

- 1) 豊田隆謙：糖尿病学会において発表された学術情報のITによる公開と問題点. *Diabetes Frontier*, 12: 732-736, 2001
- 2) 鍵本伸二：患者教育へのマルチメディアデータベースの応用. *Diabetes Frontier*, 11: 461-465, 2001
- 3) <http://www.sdmj.ne.jp/>
- 4) 山崎勝也, 小林 正：糖尿病患者データ集積用ソフト“CoDIC”を用いた多施設のデータ解析. *プラクティス*, 19: 517-521, 2002
- 5) 佐倉 宏, 菅野宙子, 岩本安彦ほか：糖尿病患者情報のデータベース化と将来への可能性. *糖尿病ケアIT革命*. 医歯薬出版, 東京, pp70-73, 2002
- 6) <http://jami.lumin.ac.jp/publication/denshikarute.pdf>
- 7) 中島直樹, 坂本憲広, 名和田新ほか：公開鍵基盤を利用した広域分散型糖尿病電子カルテネットワークシステムの実証実験. *医療情報学*, 22: 11-18, 2002
- 8) 平井愛山：電子カルテを中核とした新たな病・診・薬連携ネットワークの構築と展開. *INNERVISION*: 82-89, 2002
- 9) 古賀能彦, 渥美義仁, 松岡健平：SDMの院内ネットワーク活用. *Mebio*, 17: 84-89, 2000
- 10) 古賀能彦, 永瀬正法, 原田実根ほか：日常臨床現場におけるITの活用. *Diabetes Frontier*, 11: 357-363, 2003
- 11) 杉 謙一, 古賀能彦, 松岡健平ほか：病院情報システムに並行するUSBチップを利用した標準化対応ファイルの構築. *糖尿病*, 47(Supp 1): 142, 2004
- 12) Kimura M, Ohe K, Yoshihara H. et al: MERIT-9: a patient information exchange guideline using XML, HL7, and DICOM. *Int J Med Inf*, 51: 59-68, 1998
- 13) 川井絃一, 佐倉 宏, 青柳和美ほか：ワークショップ6: ITの糖尿病診療への応用. *糖尿病*, 47(Supp 1): 71-74, 2004

Ⅲ. 研究成果の刊行物・別刷

【書籍発表】

5. 木村通男（編集）（抜粋）

電子カルテ・医療情報システム部品集 2005

発行：地域情報化研究所

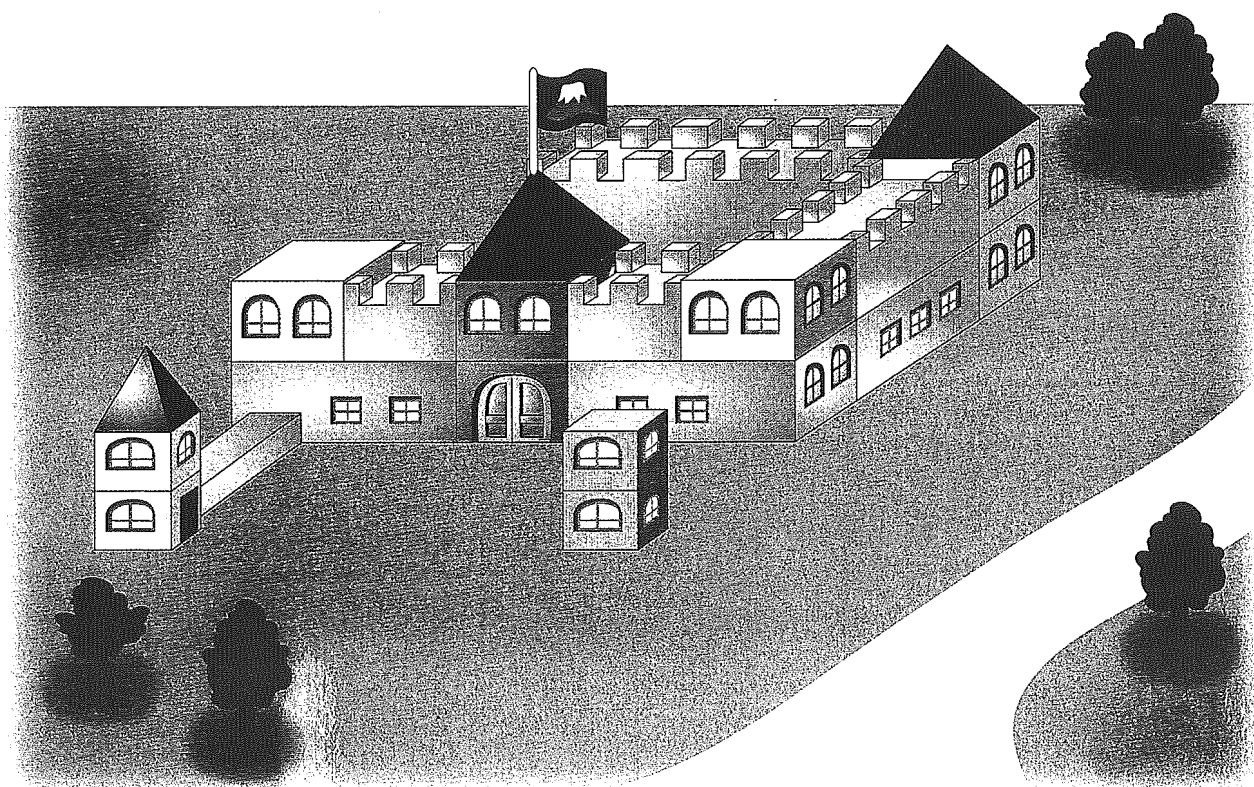
発売：株式会社インナービジョン，2004.

電子カルテ・医療情報システム 部品集

Directory of Electronic Health Record System and Components

2005

編集 木村 通男 浜松医科大学医学部附属病院医療情報部



INNERVISION 発売

発刊にあたって

関係者のご尽力を以って、本年も本書をお手元に届けることができた。

創刊号である昨年書いたように、本書は、静岡県版電子カルテシステム検討委員会の2003年の調査活動の一環として調査し、その結果を刊行したものであった。本年はその活動は委員会では行なわなかったが、別途単独の出版物として刊行することとなった。今回は、発行を地域情報化研究所に、インナービジョン社からの刊行・発売となり、書店流通に載るものとなった。

昨年版は好評を頂き、電子カルテ導入だけでなく、広く医療情報の部品集としての利用も多かったように聞いている。そのため、本年は少し書名を変更させていただいた。

静岡県版電子カルテプロジェクトは、県の予算化もされ、いよいよ入札の段階を迎えている。一方で、厚生労働省の標準的電子カルテ検討委員会、経済産業省の医療情報システムの相互運用性の実証事業など、電子カルテ、医療情報システムを取り巻く環境も変わってきており、どれも部品を組み合わせでの構築が念頭に置かれていると言っても過言ではない。

昨年同様、本書が、電子カルテなど医療情報システムの導入、更新を考えているあらゆる規模の診療施設、およびそういった施設に提案をおこなうインテグレータなどの役に立つことを願って止まない。

本書を刊行するにあたり、まず、情報提供要請にお応えいただいた各ベンダーと協賛広告をいただけた各社に、またこの調査のきっかけを頂いた静岡県健康福祉部、(社)静岡県病院協会に、更に情報収集整理に尽力いただいた、静岡大学工学部作佐部太也助教授、浜松医科大学谷重喜助教授、前田祥子氏に、編集作業に尽力いただいた寺本稔氏をはじめ地域情報化研究所各位に、そして刊行・発売にあたってお世話いただいた花房喜久枝氏をはじめ(株)インナービジョン各位に、深心より御礼申し上げる。

2004年10月

浜松医科大学附属病院医療情報部教授
静岡県版電子カルテシステム検討委員会委員長

木村 通男

目次

1. オーダエントリ系

DPCオーダシステム	株式会社麻生情報システム	2
ドクター支援システム	株式会社麻生情報システム	4
受付予約システム	株式会社麻生情報システム	6
SBS DoctorX (ドクターエックス)	株式会社エスピーエス情報システム	8
オーダーリング用熱転写プリンタ	小林記録紙株式会社	10
NEWTONS (ニュートン)	株式会社ソフトウェア・サービス	12
TRACLINICA (テラクリニカ)	中央ビジコム株式会社	14
オーダーリングシステム HIHOPS-SS (ハイホップス エスエス)	株式会社日立製作所	16
オーダーリングシステム THIMS-Order (スィムス オーダー)	日立造船メディカル株式会社	18
デュアルモニタ インテグレイトステーション (明電中小病院 IT化システム)	株式会社明電舎	20

2. 所見記述系(所見記述システム、レポート系、タブレット、PDA他)

AJS電子カルテシステム	旭化成情報システム株式会社	24
病理診断システム	株式会社麻生情報システム	26
AmiVoice (アミボイス)	株式会社アドバンスト・メディア	28
E C R U (エクリュ)	株式会社アピウス	30
DOCTOR'S DESK Light (ドクターズデスク・ライト)	株式会社エスアールエル	32
DOCTOR'S DESK II (ドクターズデスク・ツー)	株式会社エスアールエル	34
SBS DoctorX (ドクターエックス)	株式会社エスピーエス情報システム	36
Dr's partner (ドクターズ・パートナー)	三洋電機株式会社	38
OrthoMerkar (オルソメルカ)	島津エス・ディー株式会社	40
SimCLINIC FUTURE (シムクリニック・フューチャー)	株式会社島津製作所	42
セコム・ユビキタス電子カルテ	セコム医療システム株式会社	44
Eーカルテ	株式会社ソフトウェア・サービス	46
Cresc (クレス)	データキューブ株式会社	48
sumiACCEL/Win-ER (スミアクセルウィンイーアール)	東芝住電医療情報システムズ株式会社	50
電子カルテシステム TOSMEC DRCORE (トスメック ドクターコア)	東芝メディカルシステムズ株式会社	52
MegaOak-BS (メガオーク ビーエス)	日本電気株式会社	54
MegaOak-CS (メガオーク シーエス)	日本電気株式会社	56
UniCare(ユニケア)-UniCare/Karte(診療録モジュール)、UniCare/Order(オーダーリングモジュール)、UniCare/Account(医事会計モジュール)	日本ユニシス株式会社	58
UniCare (ユニケア) UniCare/MedicalOne	日本ユニシス株式会社	60
デジタルペンソリューション	株式会社日立製作所	62
電子カルテシステムHIHOPS-HR (ハイホップス エイチアール)	株式会社日立製作所	64
医師用ドキュメント生成&管理システム THIMS-Doc's Doc Builder(スィムスドクターズドキュメントビルダー)	日立造船メディカル株式会社	66
電子カルテシステム THIMS-SOAPLEX(スィムス スープレックス)	日立造船メディカル株式会社	68

i-Clinic (アイクリニック)	株式会社日立メディコ	70
Open-Karte (オープンカルテ)	株式会社日立メディコ	72
HOPE/EGMAIN-EX (ホープイージーメインイーエックス)	富士通株式会社	74
HOPE/EGMAIN-FX (ホープイージーメインエフエックス)	富士通株式会社	76
Mmドクターシステム	株式会社メディカルデザイン研究所	78
ドクターソフト (略称:DRS)	株式会社油井コンサルティング	80

3. 医事会計系(病院用会計システム、診療所向けレセコン他)

REX (レックス) (レセプト集計エキスパートシステム)	株式会社エスピーエス情報システム	84
レセプト博士	株式会社NTTデータ	86
MINS-PRO医事会計システム	株式会社NTTデータ	88
NewveExceed (ニューヴェエクシード)	三洋電機株式会社	90
sumiACCEL/G-MACS(スミアクセル ジーマックス)	東芝住電医療情報システムズ株式会社	92
医事会計システム TOSMEC MEPIO(トスメック メピオ)	東芝メディカルシステムズ株式会社	94
TOMIS/HAPINES (トミス/ハピネス)	株式会社トミスシステムズ	96
MEDI-ECHOD(医科用) (メディエコー ディー イカヨウ)	中北薬品株式会社	98
MEDI-ECHOP(調剤用) (メディエコー ピー チョウザイヨウ)	中北薬品株式会社	100
MEDI-DPCソリューション(メディ・ディー・ピー・シー ソリューション)	ニッセイ情報テクノロジー株式会社	102
医事システム MAPS/CS2	日本事務器株式会社	104
"レセプトチェックシステム マイティチェッカー(MightyChecker) 入力時チェックシステム マイティキューブ(MightyQUBE)"	日本事務器株式会社	106
MegaOakIBARS (メガオークアイバース)	日本電気株式会社	108
医療事務システム HIHOPS-CS (ハイホップス シーエス)	株式会社日立製作所	110
医事会計システム THIMS-医事 (スィムス イジ)	日立造船メディカル株式会社	112
HOPE/X-W (ホープエックスダブル)	富士通株式会社	114
デュアルモニタ クリニカルステーション (明電診療所 IT化システム)	株式会社明電舎	116

4. 薬剤系(調剤支援、物品管理、薬局用システム他)

薬剤管理指導支援システム	株式会社麻生情報システム	120
薬品管理システム (ENIF Win)	株式会社麻生情報システム	122
DICS (ディックス) 医薬品情報検索システム	インフォコム株式会社	124
i-data plus (アイデータ プラス) 相互作用チェックデータ	インフォコム株式会社	126
PICS (ピックス) 服薬指導支援システム	インフォコム株式会社	128
Prepare Control System 医薬品・物品管理システム	英和通商有限会社	130
Prepare Control System 薬剤管理指導業務総合支援システム	英和通商有限会社	132
Prepare Control System 薬袋・薬情・ラベル印刷システム	英和通商有限会社	134
管理名人II (医薬品管理システム)	川鉄情報システム株式会社	136
TOSHOU-薬局業務総合支援システム	株式会社トーショー	138
医薬品情報多次元DBシステム・サービス:DiCube(ディアイクューブ)	株式会社ネットマークス	140

POWERS (パワース)	株式会社バイタルネット	142
薬剤保管管理システム	株式会社フルハートジャパン	144
注射薬自動払出システム	松下電器産業株式会社	146
ローコストラベルプリンタ L F X シリーズ	株式会社ムーブ	148

5. 画像検査系(部門情報システム、PACS、レポート系、モダリティ他)

Dr.View/RIS (ドクタービュー/リス)	旭化成情報システム株式会社	152
Dr.View/REPORT (ドクタービュー/レポート)	旭化成情報システム株式会社	154
Dr.View/PACS (ドクタービュー/パックス)	旭化成情報システム株式会社	156
画像検査予約システム	株式会社麻生情報システム	158
POP-Net Server	株式会社イメージワン	160
POP-Net Web Server	株式会社イメージワン	162
POP-Net Essential (ポップー ネット エssenシャル)	株式会社イメージワン	164
Faust (ファウスト) / クリニック向け診療画像情報管理サーバ	株式会社イメージワン	166
Echology / 超音波検査診療支援システム	株式会社イメージワン	168
DICOMゲートウェイ型番: MC600SD	株式会社イーヤマ	170
モノクロ液晶モニタ 型番:MQ5312BW / MU5111BW / MS4611BW	株式会社イーヤマ	172
タッチスクリーン液晶モニタ 型番:PLT481x / PLT430x / PLT381x	株式会社イーヤマ	174
STARPACS Video Cine (スターパックス ビデオ シネ)	株式会社インフィニット	176
STARPACS VisualGateExpert (スターパックスビジュアルゲートエキスパート)	株式会社インフィニット	178
STARPACS web (スターパックス ウェブ)	株式会社インフィニット	180
STARPACS Server (スターパックス サーバ)	株式会社インフィニット	182
PiViewSTAR (パイビュースター)	株式会社インフィニット	184
STARPACS.net (スターパックス ドット ネット)	株式会社インフィニット	186
i R a d—R W	インフォコム株式会社	188
i R a d—R S	インフォコム株式会社	190
i R a d—I A	インフォコム株式会社	192
e F i l m	インフォコム株式会社	194
DIOWave (ディーオウェーブ)	株式会社エスピーエス情報システム	196
RisAssistant (リスアシスタント)	NECソフト株式会社	198
IS-1 DICOM Web Server	オリンパスメディカルシステムズ株式会社	200
内視鏡業務支援システム Solemio ENDO (ソレミオ エンド)	オリンパスメディカルシステムズ株式会社	202
Infinet (インフィネット)	株式会社クライムメディカルシステムズ	204
Rapidia-3D (ラピーディア 3 D)	株式会社クライムメディカルシステムズ	206
Infinet-Web (インフィネット-ウェブ)	株式会社クライムメディカルシステムズ	208
コーワ KISTY	興和株式会社	210
コーワ GD200	興和株式会社	212
GEniE Xeleris (ジェニー エクセラリス)	GE横河メディカルシステム株式会社	214
心臓血管X線撮影装置 INNOVAシリーズ(シンゾウケツカンエックスセンサツエイソウチ イノーバシリーズ)	GE横河メディカルシステム株式会社	216

Centricity DICOM Archive(セントリシティ ダイコム アーカイブ)	GE横河メディカルシステム株式会社	218
Centricity Radiology PACS (セントリシティ ラジオリジリー パックス)	GE横河メディカルシステム株式会社	220
Signa EXCITE XI 1.5Tシリーズ(シグナ エキサイト エクセル 1.5テスラ シリーズ)	GE横河メディカルシステム株式会社	222
Revolution XR/d S(レボリューション XR/d S),Revolution XR/d T(レボリューション XR/d T), Revolution XR/d TS(レボリューション XR/d TS),Revolution XQ/I(レボリューション XQ/I)	GE横河メディカルシステム株式会社	224
Senographe 2000D(セノグラフ 2000D)	GE横河メディカルシステム株式会社	226
SimRAD ArcForce (シムラド・アークフォース)	株式会社島津製作所	228
SimRAD ViewForce (シムラド・ビューフォース)	株式会社島津製作所	230
SIENET@web Web画像配信システム	シーメンス旭メディテック株式会社	232
SIENET@store DICOM画像管理システム	シーメンス旭メディテック株式会社	234
nexus SIF (ネクサス シフ)	住商エレクトロニクス株式会社	236
TRACLINICA PACS (テラクリニカ パックス)	中央ビジコム株式会社	238
AquariusNET (アクエリアスネット)	テラリコン・インコーポレイテッド	240
500万画素医用画像表示用ディスプレイ ME511L	東京特殊電線株式会社	242
300万画素医用画像表示用ディスプレイ ME315L plus	東京特殊電線株式会社	244
200万画素医用画像表示用ディスプレイ ME213L	東京特殊電線株式会社	246
IMPAX Web1000 (インパックス ウェブ1000)	日本アグファ・ゲバルト株式会社	248
IDS-2000シリーズ (画像情報システム)	日本光電工業株式会社	250
MeiFiS Pro (メイフィス プロ)	パイオニア株式会社	252
MeiFiS Marosis (メイフィス マロシス)	パイオニア株式会社	254
I E T (Image Entry Terminal) システム	日立コンピュータ機器株式会社	256
OPEN-PACS WeVIEW (オープンパックス ウィビュー)	株式会社日立メディコ	258
Natural Report (ナチュラルレポート)	株式会社日立メディコ	260
FCR (FUJI COMPUTED RADIOGRAPHY)	富士フイルムメディカル株式会社	262
F-REPORT (FUJIFILM放射線読影レポート入力支援システム)	富士フイルムメディカル株式会社	264
F-RIS (FUJIFILM放射線情報システム)	富士フイルムメディカル株式会社	266
SYNAPSE<FUJIFILM医用画像情報システム> (シナプス)	富士フイルムメディカル株式会社	268
医療画像管理システム	松下電器産業株式会社	270
D I C O M 画像システム	株式会社明電舎	272
テレバイタルシステム	メディカルテクニカ有限会社	274
PedCath 7 (ペドカス セブン)	メディカルテクニカ有限会社	276
カルディオビュー心電計	メディカルテクニカ有限会社	278
D I C O M ドクターシステム	株式会社メディカルデザイン研究所	280

6. 検体検査系(部門情報システム、分析器、自動化機器、検体管理機器他)

検体検査ソフトウェアモジュール CLINILAN GL	株式会社エイアンドティー	284
MegaOakLACS (メガオークラックス)	NECソフト株式会社	286
T R A S (トラス)	小林記録紙株式会社	288
採血業務支援システム i・p r e s	小林記録紙株式会社	290

LAPIS (ラピス)	島津エス・ディー株式会社	292
nexusPath-Link (ネクサス パスリンク)	住商エレクトロニクス株式会社	294
Labostream (ラボストリーム)	株式会社日立サイエンスシステムズ	296
総合検査システム THIMS-LABOSYSシリーズ (スィムス ラボシス シリーズ)	日立造船メディカル株式会社	298
マツナミ Path Window (マツナミ パスウインドウ)	松浪硝子工業株式会社	300

7. 生理検査系 (部門情報システム、検査機器、レポート系他)

ブレインモニタ EMS-100 (数値積分方式の携帯型脳波計)	株式会社イーオス	304
サーモテスター HCM-100 (末梢神経の温度覚検査装置)	株式会社イーオス	306
EDS-2000シリーズ (心電図情報システム)	日本光電工業株式会社	308
診断情報システム (Diagnostic Information System)	日本光電工業株式会社	310
CNN (Clinical Neurology Data Network System)	日本光電工業株式会社	312
Hi-MEDION	フクダ電子株式会社	314
EFS-8000	フクダ電子株式会社	316
ホルタネットワークシステム	フクダ電子株式会社	318
ストレスデータサーバー SDS-3000	フクダ電子株式会社	320
血圧脈波検査データ管理ソフト VSS-10	フクダ電子株式会社	322

8. 看護・介護系 (部門情報システム、PDA、食事系、ベッドサイド機器・施設他)

セットトップBOX (ASO-Station)	株式会社麻生情報システム	326
看護支援システム	株式会社麻生情報システム	328
PC-栄養	株式会社石川コンピュータ・センター	330
看護手順電子マニュアル (MedKM-NMメドコム・エヌエム [仮称])	インフォコム株式会社	332
SBS NICE (ナイス)	株式会社エスピーエス情報システム	334
PDA端末によるリスクマネジメントシステム (SBS NICE サブシステム)	株式会社エスピーエス情報システム	336
栄養管理アシスタント (エイヨウカンリアシスタント)	NECソフト株式会社	338
看護業務支援システム Solemio NURSE (ソレミオ ナース)	オリンパスメディカルシステムズ株式会社	340
OPL-6755レーザ式バーコードスキャナ (UCC/EAN-128対応スキャナ)	小林記録紙株式会社	342
NISS (ニース)	島津エス・ディー株式会社	344
SSI 看護支援システム	株式会社ソフトウェア・サービス	346
sumiACCEL/Win-ER (スマイクセルウィンイーアール) 看護支援システム	東芝住電医療情報システムズ株式会社	348
CAP-2300	日本光電工業株式会社	350
CAP-2000シリーズ	日本光電工業株式会社	352
総合看護情報システム THIMS-Nurse Station Plus! (スィムス ナースステーション プラス)	日立造船メディカル株式会社	354
nns 看護支援システム	株式会社日立ハイテクノロジーズ	356
ナースコールシステム	松下電器産業株式会社	358

9. 物品・物流系(物流管理・発注管理システム、PDA、読取器他)

物品管理システム	株式会社麻生情報システム	362
管理名人Ⅱ(医用材料管理システム)	川鉄情報システム株式会社	364
medie(メディエ)	株式会社ティエムシー	366
MegaOak-M3(メガオーク エムキューブ)	日本電気株式会社	368

10. 手術部・ICU・救急部系(ベッドサイド機器、部門情報システム他)

CAP-2100	日本光電工業株式会社	372
CAP-2500	日本光電工業株式会社	374
CAP-2410(集中治療部支援システム) CAP-2420(産科病棟支援システム) CAP-2430(新生児病棟支援システム)	日本光電工業株式会社	376
術中映像システム	松下電器産業株式会社	378

11. 患者説明・情報開示系(説明・開示用機器、メディア、カード他)

院内表示板システム	株式会社麻生情報システム	382
Manaty(マナティー)	株式会社イメージワン	384
PRM-1100シリーズ(診療所業務支援システム) ペットネーム Prime park	日本光電工業株式会社	386

12. 診療録など管理系(ペーパーレス、ペーパー併用とも)

診療録管理システム	株式会社麻生情報システム	390
Medi-bank(メディバンク)	インフォコム株式会社	392
インシデントレポート(MedKM-IRメドコム・アイアール [仮称])	インフォコム株式会社	394
紙カルテファイリング(MedKM-KFメドコム・ケーエフ [仮称])	インフォコム株式会社	396
コダック イノベーションスキャナーi280	コダック株式会社	398
コダック イノベーションスキャナーi80	コダック株式会社	400
コダック イノベーションシリーズスキャナーi660	コダック株式会社	402
CyberKrate(サイバーカルテ)	株式会社サイバー・ラボ	404
WINE STYLE(ワインスタイル)	株式会社サン・ジャパン	406
診療支援画像ファイルシステム	株式会社明電舎	408
K-Sheet(ケーシート)	株式会社ループス	410

13. その他の診療施設業務系

BRL-6735	株式会社アステックコーポレーション	414
e-チェッカー	株式会社アステックコーポレーション	416
F-20-NC	株式会社アステックコーポレーション	418
MINICODER 3000(ミニコーダー)	株式会社アステックコーポレーション	420
UTICODER 2110M(ユーティコーダー)	株式会社アステックコーポレーション	422

MINICODER 3000RB (ミニコーダー)	株式会社アステックコーポレーション	424
健診支援システム	株式会社麻生情報システム	426
輸血管理システム (ブラッド)	株式会社麻生情報システム	428
医療安全管理システム (イリヨウアンゼンカンリシステム)	NECソフト株式会社	430
地域医療連携支援システム (チイキイリヨウレンケイシエンシステム)	NECソフト株式会社	432
地域医療ネットワークシステム	株式会社NTTデータ	434
管理名人II (固定資産管理システム)	川鉄情報システム株式会社	436
ME 機器管理システム	株式会社サン・システム	438
STEP透析 (ステップとうせき)	株式会社サン・ジャパン	440
インシデント・レポーティングシステム	日本ユニシス株式会社	442
UniCare (ユニケア) UniCare/Info (情報系システム)	日本ユニシス株式会社	444
WINCARE (ウインケア)	富士通株式会社	446
HAINS/V (ハインズヴィ)	富士通株式会社	448
HAINS/L (ハインズエル)	富士通株式会社	450

14. 情報基盤アーカイブ系

WebMEDIE (ウェブメディエ)	株式会社ティエムシー	454
--------------------	------------	-----

15. 情報基盤セキュリティ系

Content Security Server (米国Authentica社製)	アイディ ネットワークス株式会社	458
指紋認証OCX	株式会社麻生情報システム	460
e-timing EVIDENCE (イータイミング エビデンス)	アマノ株式会社	462
アマノ標準時配信・認証サービス	アマノ株式会社	464
ネットワーク認証システム	株式会社ネットマークス	466
病診連携セキュリティシステム	株式会社ネットマークス	468
C4VPN (シーフォーブイピーエヌ)	株式会社フォーカスシステムズ	470
C4U (シーフォーユー)	株式会社フォーカスシステムズ	472
C4 FILE PROTECTOR (シーフォー ファイル プロテクター)	株式会社フォーカスシステムズ	474
デバイス制御ソフトウェア CRYPTOFIELD LOCK (クリプトフィールドロック)	三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社	476
ファイル暗号ソフトウェア CRYPTOFIELD PLUS (クリプトフィールド プラス)	三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社	478
三菱認証サービス MistyGuard<CERTMANAGER> (ミスティガード サートマネージャ)	三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社	480
三菱認証ライブラリ CertMISTY for Windows (サートミスティフォー ウィンドウズ)	三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社	482
三菱セキュアWebアクセスシステム MistyGuard<TRUSTWEB> (ミスティガードトラストウェブ)	三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社	484
MistyGuard<SignedPDF>ファミリー (ミスティガード サインドピーディエフファミリー)	三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社	486
デスクトップセキュリティ MISTYLOGON (ミスティログオン)	三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社	488
三菱メッセージ暗号ソフトウェア MistyGuard<CryptoSign> (ミスティガード クリプトサイン)	三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社	490
三菱署名有効性延長システム MistyGuard<EVERSIGN> (ミスティガード エバーサイン)	三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社	492
指紋照合装置つきICカードリーダーライタ	三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社	494

16. その他の情報基盤系

HL7メッセージ編集処理	株式会社麻生情報システム	500
HPKI (ヘルスケアPKI) 対応XML 署名システム	株式会社麻生情報システム	502
DOCTOR'S DESK NET SERVER (ドクターズデスク・ネットサーバ)	株式会社エスアールエル	504
Oracle9i Application Server (Oracle9iAS)	日本オラクル株式会社	506
Oracle Healthcare Transaction Base (HTB)	日本オラクル株式会社	508
Oracle9i Database	日本オラクル株式会社	510
Oracle9i Developer Suite	日本オラクル株式会社	512
Oracle Collaboration Suite	日本オラクル株式会社	514
IPv6 P2P VPN ソリューション (マイねっとマネージャ)	株式会社ネットマークス	516
在宅健康管理システム	松下電器産業株式会社	518
DTU-710 液晶ペンタブレット	株式会社ワコム	520

17. データ後利用・臨床支援系

MINSPRO EUC型 電子カルテシステム	株式会社NTTデータ	524
Oracle Pharmaceutical Application	日本オラクル株式会社	526

18. データ後利用・研究・教育系

Oracle E-Business Suite 11i HRMS (人事管理システム)	日本オラクル株式会社	530
---	------------	-----

19. データ後利用・経営支援系

経営管理システム「KEYGRIP」	株式会社麻生情報システム	534
ReceiptFolder (レセプトフォルダ)	インフォコム株式会社	536
管理名人II (財務会計システム)	川鉄情報システム株式会社	538
Oracle E-Business Suite (Financials)	日本オラクル株式会社	540
Oracle Balanced Scorecard (OBSC)	日本オラクル株式会社	542
Oracle Financial Services Applications (OFSA)、Oracle Discoverer	日本オラクル株式会社	544
UniCare on SAP (ユニケアオンエスエーピー)	日本ユニシス株式会社	546
Dr. MEDICA (ドクターメディカ)	日本ユニシス株式会社	548
HIHOPSシリーズ 経営支援ソリューション (ハイホップスシリーズ けいはいしえんソリューション)	株式会社日立製作所	550
経営管理支援システム THIMS-経営 (スィムス ケイエイ)	日立造船メディカル株式会社	552

20. その他のデータ後利用系

クリニカルパス作成支援システム	株式会社麻生情報システム	556
-----------------	--------------	-----

21. 設備系(患者案内、受診受付、到着確認、自動会計、ベッドサイド機器他)

自動電話受付&順番案内システム“受付テルミーFLICS”(ウケツケテルミーフリックス)	株式会社アイアコス	560
Hospny Window	株式会社アステックコーポレーション	562
SKT-3003-R	株式会社アステックコーポレーション	564
Hospny Gate (ホスピゲート)	株式会社アステックコーポレーション	566
Hospny Window (ホスピウインドウ) 会計版	株式会社アステックコーポレーション	568
Hospny Report (ホスピレポート)	株式会社アステックコーポレーション	570
SBS BESIDE (ビサイド)	株式会社エスピーエス情報システム	572
MERSYS (メルシス)	島津エス・ディー株式会社	574
MERSYSid (メルシスアイディー)	島津エス・ディー株式会社	576
mini-MERSYS(ミニメル) — 診療所向け受付番号発券システム —	島津エス・ディー株式会社	578
mini-MERSYS(ミニメル) — 投薬・会計向け受付番号発券システム —	島津エス・ディー株式会社	580
OrthoMERSYS (オルソメルシス)	島津エス・ディー株式会社	582
診察券カードプリント・エンコードシステム	株式会社ドッドウエル ビー・エム・エス	584
ラベルプリンター (LP-1800)	株式会社ドッドウエル ビー・エム・エス	586
診察券発行機 (ADV-2000シリーズ)	株式会社ドッドウエル ビー・エム・エス	588
再診受付システム (PA-300)	株式会社ドッドウエル ビー・エム・エス	590
複写伝票プリンター (RS-1800)	株式会社ドッドウエル ビー・エム・エス	592
無停止型サーバ「ftServerシリーズ」	日本ストラタステクノロジー株式会社	594
外来患者呼出システム	松下電器産業株式会社	596
リライト診察券端末、リライト診察券	株式会社ムーブ	598
ネコの目システム	リプライス株式会社	600

22. その他

MJSLINK 給与大将 (エムジェイエスリンク給与大将)	株式会社麻生情報システム	604
MJSLINK 財務大将 (エムジェイエスリンク財務大将)	株式会社麻生情報システム	606
Medi-Smart (メディスマート)	インフォコム株式会社	608
Medi-Support	インフォコム株式会社	610
地域医療ネットワークシステム (P-net [仮称])	インフォコム株式会社	612
CyberFramework (サイバーフレームワーク)	株式会社サイバー・ラボ	614
採血管準備システムBC・ROBOシリーズ	株式会社テクノメディカ	616
外来情報表示システム	株式会社富士通ゼネラル	618
明電健診システム	株式会社明電舎	620